

三中生
×
地域活動

学生ので地域を元気に！「地活隊」

地域を超えた連携



8月3日の早朝、美川河川敷で行われた美川夏まつり実行委員会の除草作業に、浜田市立第三中学校の生徒6名が参加しました。生徒たちは刈られた草を集め、トラックに積み込む作業を担当。広い河川敷で熊手を手に、実行委員の方々と一緒に汗を流しました。「初めての作業だけけど楽しい！ 来年もやりたい」と、笑顔で作業する姿が印象的でした。

この活動は、長浜まちづくりセンター主事が先生からの「生徒に地域活動を経験してほしい」という思いを受けて企画したもの。全校生徒に地域活動募集のチラシを配布したところ、11人が応募し、「地活隊（ちいかつたい）」を結成しました。同センターの主事は、美川まちづくりセンターだよりの記事で草刈り作業を知り、地活隊に参加を提案。それが生徒たちのやる気スイッチになり、今回の活動につながりました。

夏まつり 実行委員の方からは「**中学生の声が聞けるだけで嬉しい、励みになる**」との声が寄せられ、美川まちづくりセンターのセンター長も「**楽しい行事の裏には、こうした見えない準備があることを知ってもらえて嬉しい**」と語りました。

長浜まちづくりセンターの主事は「**大人の押し付けではなく、中学生自身が考えて活動してほしい。そして、その姿を見た保護者や他の生徒も興味を持ち、もっと仲間を増やしたい**」と熱意を込めます。こうした取組が、地元への愛着を育み、将来のまちづくりの担い手を生み出す第一歩となりそうです。ちなみに、8月14日に開催された美川夏まつりは、大盛況で幕を閉じました。



写真：石州和紙灯ろうまつり2025
三保地区まちづくり推進委員会

全ての人が一体となった持続可能で元気な浜田市

まちづくり コーディネーター 通信

第15号 令和7年9月末発行

目次

- P1. 令和7年度 上半期の活動報告
- P2. 旭町今市：四つ葉ふれあい農園（課題解決特別事業）
- P3. まちづくり活動報告（弥栄地域・石見地域）
- P4. 学生の力で地域を元気に！「地活隊」
コーディネーターのつぶやき

まちづくりコーディネーター

令和
7年度

「上半期」の活動報告

まちづくりコーディネーターが活動をはじめて5年目となる令和7年度の上半期は地区まちづくり推進委員会の設立支援を重点活動として取組を進めました。

1 まちづくり推進委員会の設立

◆地域の未来を一緒に考える会議をサポート◆

地域のめざす将来像に向けて、港町、元浜町、生湯町の定期的な話し合いに参加をしています。住み慣れた場所で安心して暮らすために、地域の課題解決等が一步步つ前に進んでいます。



2 まちづくり活動推進

◆地域でのイベントや取組を応援しています◆

地域での会議やイベントに参加し、地域の活動がスムーズに進むように、一緒に考えたり、お手伝いしたりしています。直接、地域住民の声が聞ける貴重な時間になっています。



3 コーディネーター活動情報発信

◆地域の“がんばり”を伝えています◆

上半期は、Instagramの更新やまちづくりコーディネーター通信を発行し、地域活動の様子を発信しました。まちづくりコーディネーター通信は浜田市のHPで見ることができます。

[Instagram]
フォローお願いします



浜田市 まちづくりコーディネーター

4 地区や地域を超えた連携づくり

◆他地区・他地域との連携による課題解決◆

上半期は、金城地域×弥栄地域、浜田地域×三隅地域等で地域を超えた連携がありました。何気ない会話から情報共有が行われ、活動の相乗効果が生まれています。こういった取組が課題解決につながります。



コーディネーターのつぶやき

久しぶりのつぶやき…何をつぶやこうかな♪う～む…
話題が少ないことに愕然とした…そうだ！私を知ってもらおう！

岡本真奈 OKAMOTO MANA

京都生まれですが京都弁は話せません

少し集合体が苦手です

吐き癖のある「まる」という猫を飼っています

最近の趣味は「イラスト」を描くことですが、
でも驚くほどに趣味がすぐに変わります

体を動かすことが好きです

とにかくこの虫が苦手です

肩こり首こりがあります

「サメ」を見ると目が離せなくなります

家ではPCで動画編集したり
ソフトの勉強をしたりしがちです

OKAMOTO

〔依頼申請コード〕



①まちづくりコーディネーターの活動の様子は
下記の二次元コードから♪

〔Instagram〕



フォロー
待ってます



浜田市地域政策部
まちづくり社会教育課

【電話】 0855-25-9201
0855-25-9007

（まちづくりコーディネーター執務室）

【FAX】 0855-23-1866

【メール】 machizukuri@city.hamada.lg.jp

令和6年度 浜田市まちづくり総合交付金課題解決特別事業

旭町今市
×
活動報告

今市地区まちづくり推進委員会(四つ葉振興会)
一家庭菜園はじめませんか?畑貸します!—
四つ葉ふれあい農園



旭地域の今市地区まちづくり推進委員会では、同地区内の遊休水田を利用し課題解決特別事業を活用した「市民農園」が始まりました。

休耕地を有効活用!

これは、前年まで耕作されていた水田を新たな耕作放棄地にしたい地域の思い、日頃から菜園を望む住民の声、市道沿いのアクセスの良い立地、所有者の快諾などもあり、この水田の活用に関する協議を定例役員会で重ねました。そして「市民農園」として活用を目指し「令和6年度浜田市課題解決特別事業」に申請し計画が進められたものです。

同地区には、新しく越して来た転入者と従来から居住している住民や転入者同士の交流の場が少なく、委員会活動の興味や関心の喪失を招きかねない現状でした。この「市民農園」に人と人とが繋がる交流の再生の場としての期待が込められました。

講師は地元の野菜作り名人さん

本年4月には「四つ葉ふれあい農園」として本格的に開園され、春野菜の植え付けを前にオーナーさん達の初顔合わせを兼ねた野菜作り講習会が開かれました。

地元農家からは共同小型耕運機の安全な使い方を教わり、地元の野菜作り名人さんからは、苗の植え方や種の蒔き方などを教わりました。初めての体験の数々に弾む会話と笑い声があふれ和やかな空気が流れました。

半年過ぎた農園には、ピーマン、茄子、胡瓜、オクラ、さつま芋など初めてとは思えないほど上手く育っています。オーナー同士で苗の交換をされるなどのほのぼのとしたエピソードも聞かれます。

今後の人づくりの実りにむけて

「越して来た地域への愛着が生まれる」「共同作業や収穫の分け合いから交流が深まる」「耕作放棄地を防ぎ景観を保てる」これからも今市地区まちづくり推進委員会「四つ葉ふれあい農園」への副次的な効果に期待が膨らみますね!

Information

学んでみよう!

まちづくり総合交付金課題解決特別事業とは?

✓ 浜田市まちづくり総合交付金の「課題解決特別事業」は、地区まちづくり推進委員会が実践する地域づくり活動で、喫緊の課題を解決するために取り組む活動を支援する制度として平成28年度から実施しています。

交付額は取り組む事業によって金額が異なり、上限は200万円まで。補助率は10/10(100%)です。「課題解決特別事業」の採択は、公平・公正を期すため、「課題解決特別事業選考委員会」で書類又はヒアリングによる選考を実施し決定します。詳しくは、浜田市まちづくり社会教育課までお問い合わせください。



弥栄
×
活動報告

Let's!

弥栄のみらい創造会議 なごみ部会
みんなで健康チャレンジ!

昨年度から、弥栄みらい創造会議のなごみ部会が「みんなで健康チャレンジ事業」に取り組んでいます。

この事業は、住民の皆さんが外に出かけるきっかけをつくり、健康維持につなげると同時に、みらい創造会議の活動を知っていただくことで、弥栄町の活性化を目指す取組です。

チャレンジの方法はとてもシンプル。誰でも気軽に対象イベントに参加するだけです。上期・下期の2回に分けて実施しており、各期間の最後には市などの会場で特賞抽選会も開催され、楽しみながら健康づくりに挑戦できます。

なごみ部会の担当者は「今年度上期は103人が参加し、ポイントを達成された方は39人。もっと多くの方に声をかけ、イベント会場で交流を深めながら、健康づくりと弥栄の元気につなげていきたい」と話されています。



ポイントを達成しつつ、自然と健康づくりになり、商品券もGETでき、弥栄の活性化にも貢献できる、住民みんなに嬉しい「一石三鳥」のこの事業の今後の広がりが楽しみです!



【弥栄支所市民福祉課からのまめ知識】

お出かけなどによって、からだの機能維持、こころのリフレッシュなど健康に役立つことが知られています。少なくとも週に1回以上、できれば毎日1回は外出しましょう。



みんなで健康チャレンジ
やってみよう!

1 チャレンジ

対象イベントに参加して
みんなで楽しく
交流しながら
健康づくり!

2 チャレンジ

ポイントを貯めると先着
で500円分をGET!
さらに...特賞2,000円
分の商品券が
抽選で当たる

3 チャレンジ

商品券を使って
わーい
弥栄のお店で
お買い物しよう!

みはし
×
活動報告

みはし地域まちづくりネットワーク
地域が広いからこそ大きな力になる!

6月15日石見まちづくりセンターを会場に、みはし地域まちづくりネットワーク意見交換会が開催されました。当日は参加者36人が5班に分かれて「なぜまちづくりが必要なのか」「他の町内会と顔見知りになり、活動内容の情報交換を行う」という、二つのテーマで話し合いました。

みはしネットは、市街地と中山間地からなり、面積は広範囲。所属する町内会は34町、人口3,914人と、既存設立42団体の中で、3番目に世帯数が多い団体です。そのため生活環境や地域課題も多様で、役員相互のコミュニケーションも希薄になりがちな状況にありました。

今回は、市街地と中山間の町内会をシャッフルして、各町内で取り組んでいることとこれからやってみようことを出し合い、お互いの悩みや参考になること、また協力しあえることなどを共有しました。みなさんの会話の中には「うちの町内会は草刈りが得意だから、草刈りなら他の町内の手伝いに行けるで!」など、町内会同士の交流につながる意見を聞くことができました。

会長の小川寛さんは、「今回の情報交換をとおして、役員同士を知り、町内会を超えた交流が気軽にできる間柄になってほしい」と、今後の期待を話されました。意見交換会を機にみはしネット内の交流の輪が広がることに、今後も目が離せません。



講師のまちづくりコーディネーターの佐々木さんは「まちづくりは他人事じゃない! いざ、という時のために自分たちでつながり合ってほしい」と話されました。

意見交換会

